

0930 | 絵画 II

4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

三浦明範教授、赤塚祐二教授、遠藤彰子教授、樺山祐和教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、清水健太郎講師、瀬島匠講師、山本明比古講師、吉川民仁講師

授業の概要と目標

ここでのテーマは「美術史の参照」である。

美術の歴史の中には、人間を描いたものや、風景、静物、抽象画など、さまざまな絵がある。好きな絵や興味をもった絵がどのように成り立っているかは、実際に自分が絵を描いてみた時によくわかるであろう。

通信授業では、名画を参考にしたモチーフを作り、或いは探して、平面としての絵画性を探る。面接授業では、講座を選択し、自分の絵を描きながら自分と美術史との接点を見つけていく。

課題の概要

○通信授業課題「名画を参考に描く」

1-1 名画の造形的な特徴を分析し「人物」「風景」「静物」等、身の回りにあるモチーフによって実践的にクロッキーをする。

1-2 「1-1」をもとに、具体的にモチーフを設定し、エスキースによって実践する。また、参考にした作品名・作家名、注意点・考え方、感想などを 300～800 字で解説する。

1-3 「1-2」をもとに油彩で制作する。

○面接授業課題「名画を参考に描く」

1-1 自分の絵を描きながら自分自身と美術史との接点を見つけていく。「見て描く（人物 [裸婦]）」または「自由に描く（静物）」のどちらかを選択し、デッサン及びエスキースを制作する。B2 程度の画用紙、水彩紙、または木炭紙。描画材は鉛筆、コンテ、木炭等。

1-2 「1-1」と同じ選択で油彩を制作する。25～30 号キャンバス。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『絵画 I・II 平成 29 年度』の「絵画 II」を参照。

教科書『絵画—素材・技法—』の第 1 章「デッサン・油彩」、第 2 章「油彩画の素材・技法と表現」、第 5 章「名作を語る」等を参照。

教科書『絵画—アートとは何か—』の第 1 章「美術の成り立ち」等を参照。

[面接授業]

第 1 日 午前：前提講義及び制作 午後：制作（エスキース）

第 2 日 午前：制作（デッサン） 午後：制作

第 3 日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

第 4 日 午前：前提講義及び制作 午後：制作（油彩）

第 5 日 午前：制作 午後：制作

第 6 日 午前：制作 午後：制作及び採点・講評

※上記の日程は、開講時期により異なる場合があるために、スクーリング持参物冊子を参照すること。

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2 年次

[履修条件] 「絵画 I」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] 油絵学科絵画コース指定科目。

絵画コース進学希望者は 2 年次に履修すること。絵画コース 3 年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。

「絵画 I」を同時に履修する場合は、「絵画 I」のスクーリングを先に受講すること。

教材等

教科書：『絵画—素材・技法—』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

『絵画—アートとは何か—』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『絵画 I・II 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）